



2026 年 9 月 10 日

ひまわりグリーンエネルギー株式会社による水力発電事業への参入について ～大多喜町面白峡水力発電所の取得に向けた基本合意書を締結～

千葉銀行（頭取 米本 努）は、100%子会社であるひまわりグリーンエネルギー株式会社（代表取締役 本庄 敏彦）が、株式会社関電工（代表取締役社長 田母神 博文、以下「関電工」）との間で、大多喜町面白峡水力発電所（以下「本発電所」）の譲受に向けた基本合意書を締結したことをお知らせします。

本発電所は、大多喜町の地域資源である養老川の水を利用した、発電出力 132kW の水力発電所であり、2015 年 8 月に運転を開始しましたが、2023 年の台風被害により設備が損傷し、現在は運転を停止しています。当行グループでは、地域の貴重な再生可能エネルギー資源を次世代へ引き継ぐとともに、地域における再生可能エネルギーの供給拡大と地域活性化の実現に取り組むため、本発電所の取得を決定しました。本基本合意書に基づき 2026 年 8 月より復旧工事を開始し、2028 年 5 月の運転再開を目指します。

当行グループは大多喜町との観光まちづくりに関する連携協定に基づき、2019 年から同町のまちづくりを支援してまいりました。本発電所は、脱炭素化に貢献するだけでなく、新たな地域資源としての役割も期待されています。今後、当行グループは大多喜町・関電工と連携しながら、本発電所を活用した地域活性化に向けた取組みについても支援してまいります。

当行グループは、地域まるごと GX の実現に向けて、既存発電所の維持および安定稼働を通じた地域の脱炭素化に取り組むとともに、新たな観光資源創出による地域の活性化にも貢献してまいります。



以上